

宇宙国際協力の戦略について¹

平成 19 年 3 月 30 日
宇宙開発委員会事務局

現在進行中かつ、いよいよ JEM も打ち上げられようとするなど今後本格化する国際宇宙ステーション計画をはじめ、いよいよ動き出そうとしている月・惑星探査計画などの大型のプロジェクトについては、すでに一国だけでは実現し得ないものとなっており、そのため、国際協力の枠組みが必須となっている。我が国としても、独自の計画だけでは達成し得ないような成果を得るべく、こうした国際的な枠組みの下での大規模プロジェクトに参加していくことは極めて有力な手段であると考えられる。しかしながら、国際協力は調整に手間取ったり、一国の進捗の遅れが全体の進捗の遅れをもたらしたりと、その進め方によっては大きな弊害を生じる可能性をはらんでいる。我が国が国際協力を通じて効果的・効率的に最大限の成果を得るためにも、その参加に当たっては戦略を持って望むべきである。また、近年の宇宙開発分野におけるアジア諸国の急速な発展など、宇宙開発をめぐる国際的な情勢についても考慮する必要がある。

¹ この説明を受けたときには気付かなかったが、資料 10-1-2 と 3 で JAAXA が回答(明細化)している。文科省自ら作るか、外務省に相談する方がいいのではないか。外交の素人に相談して何になるのか。大切な外交の道具を得たのであるから、上手に使って欲しい。

- (1) 国際宇宙ステーション (ISS) 計画の総括と今後の進め方
ISS 計画による成果
ISS 計画で得られたもの、今後得られるものは何か
ISS 計画はその成果を達成するために妥当又は適切なものであったか
ISS 計画へ参加して得られた教訓
ISS 計画参加によるメリットとは
ISS 計画参加での経験を踏まえて今後留意すべきこととは
ISS 計画の今後の進め方
貴重な宇宙活動プラットフォームとしての活用の在り方とは
本格的な利用段階への移行に当たって留意すべきこととは
(特にいかにユーザーを獲得するか)
- (2) 今後の国際協力への基本的考え方
国際協力の基本的考え方
国際協力に当たって留意すべきことは何か(我が国の自律性・自主性の確保、相互互恵的な協力等)
先進国との協力と途上国との協力の在り方の違いとは何か
我が国の国際戦略
これまでの国際協力の実績を基に、どの分野で、どの相手国と協力することにより国際協力の成果を最大化するか
副次的効果・波及効果(国際的プレゼンスの向上、影響力の保持等)をどのようにとらえ、いかに配慮するか
欧米等の先進国の一角として我が国がとるべき立場とは
アジア・太平洋地域における我が国のスタンスはどうあるべきか